

【LB7-F7】 H7 6000k 20w 適合車種：BMW '13～'18 F700GS

警告

- 取付けは取扱説明書に沿って正しく取付けてください。取付け方法を間違えると火災・故障などの原因となります。
- 取付け前に必ずバッテリーのマイナス側のターミナルコードを外して、キーOFFである事を確認してください。
- LEDチップには触れたり汚さないでください。汚れの付着は熱溜まりによるLEDチップの焦げの原因となります。
- 本製品は精密機器ですので取扱いには充分ご注意ください。落としたり、配線を無理に引っ張ったりしないでください。誤った取扱いは故障の原因となったり、怪我や火傷、人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。またスパークや絶縁不良、ショートにより本製品の故障や車両火災の原因となりますので充分ご注意ください。
- **本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。**分解・改造した製品の保証は受けられません。
- 点灯中のヘッドライト内のLED発光を直視しないでください。視覚障害の原因となります。
- 点灯中や消灯直後にレンズに水をかけないでください。急な温度変化でレンズやLEDバルブの破損の原因となります。また、LEDバルブ本体と後方のヒートシンクや、コントローラーユニットは高温になりますので触らないでください。

注意

- 本製品は、直流(DC)12v専用です。必ずDC12vを電源とした配線を厳守してください。
※小排気量車に多い交流(AC)点灯式ヘッドライト車両には対応致しませんので絶対に取付けしないでください。
- 本製品は12Vオートバイ専用となっておりますので四輪自動車への使用はできません。
また、適合車種以外のオートバイに使用した場合、光軸が出ず車検不合格になる場合があります。
- 本製品は適合車種のLoビーム側への取付けを前提として設計された専用品となっております。
Hiビーム側に装着する事は出来ません。
- 本製品を紙や布で覆ったり燃えやすい物の近くで点灯させないでください。火災や異常加熱を引き起こす恐れがあります。
また、可燃スプレー、シンナー等燃えやすい物や引火する危険のある物の近くでは点灯しないでください。
- 通電または点灯した状態でヘッドライトへの取付けは行わないでください。故障や火傷の原因となります。
- 本製品は生活防水ですが完全防水ではありません。コントローラーユニットから出ているカブラーはビニールテープや自己融着テープなどを巻くかコーキング剤などで防水処理をしてください。必要以上に水で濡らす事は避けてください。
- 高圧洗浄機による洗車を行う際は本製品に直接高圧洗浄が当たらないようにしてください。
- LEDバルブやコントローラーユニットを落としたり、強い衝撃を与えるなどしないでください。
破損や性能の低下、寿命を縮めるだけではなく、ケガの原因にもなります。
- **LEDバルブの組み付けには、この  グリス マークで示した箇所に必ず付属のシリコングリスを塗ってください。**
- 防水冷却ファンを覆い隠さないでください。ファン後方には吸い出した空気が流れる十分なスペースを確保してください。
- 防水冷却ファンには取付け時の向き指定があります。必ず丸いシール面を外側に向けて取付けてください。
- ネジ部の緩み防止にネジロックをご使用ください。また定期的な増締めを行ってください。
- 取付けは専門知識と技術が必要です。熟練したメカニックのいる指定整備工場などで行ってください。
- ご使用前に必ず光軸の調整を行ってください。対向車の視界の妨げになり、交通事故を誘発する恐れがあります。
詳しくは道路運送車両の保安基準を参照ください。
- 本製品の取付けをした事により車両製造メーカーの保証が受けられない場合があります。
- **本製品の使用により生じた故障・事故などの損害については、当社で一切責任を負いかねます。また、修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましては、当社で一切責任を負いかねます。**初期不良の場合も同様です。
- 取付け作業中または使用中に少しでも異常を感じたら、ご購入の販売店または当社サービス課までお問い合わせください。

車検適合の記載について

本製品は車検対応品として販売しております。ロービームでのヘッドライト検査は行いませんが、製品の取付け後は必ず、LED(新光源)に対応した検査機にて光軸調整を行ってください。光軸調整不良や経年劣化によるライトレンズの汚れや曇り、擦り傷、灯体内リフレクター部メッキの剥がれ、純正以外のヘッドライトに使用した事による整備不良違反の取り締まり対象について当社は一切の責任は負いません。

仕様

- 定格電圧…DC12V
- 消費電力…20W
- 色温度…6000k
- 使用LED…CREE社製 XLamp XP-L LEDs
- 発光部のメーカー型式…LB7-KN

製品の主な特長・仕様

- **車検対応！**
本製品は車検対応品です。
添付の日本車両検査協会発行の成績書はKawasaki Ninja1000のHiビームにて測定したH7バルブの検査結果です。
- **長寿命！**
ノーマルのハロゲンバルブはもちろん、H.I.D.より更に長寿命です。
- **省電力設計！**
消費電力は20wですので、一般的なH7ハロゲンバルブ(12v 55w)より省電力です。
- **信頼のCREE社製LED採用！**
発光体には耐久性、信頼性の高いCREE社製XLamp XP-L LEDsを使用しています。
- **バルブ切れ警告対策！**
キャンバスデコーダー装備でバルブ切れ警告表示が発生致しません。
- **いきなり明るい素早い点灯！**
HIDと違い電源投入直後からフルパワー点灯します。またHIDのように徐々に発光色が変化する事はありません。
- **防水冷却ファン採用！安心の冷却システムで常に明るい！**
LEDで発生する熱をロスなくヒートシンクに伝えて防水冷却ファンで冷却する事で長時間連続点灯しても熱の影響を受ける事無く20wのフルパワーで明るい光が持続します。(下図参照)

LEDチップから発生した熱は

極太アルミ無垢材に移動

※太い素材(断面積の広い素材)を使うことで
熱伝導性が良くなる

極太アルミ無垢材から
ヒートシンクに移動

ヒートシンクへ到達した熱を
防水冷却ファンで放出

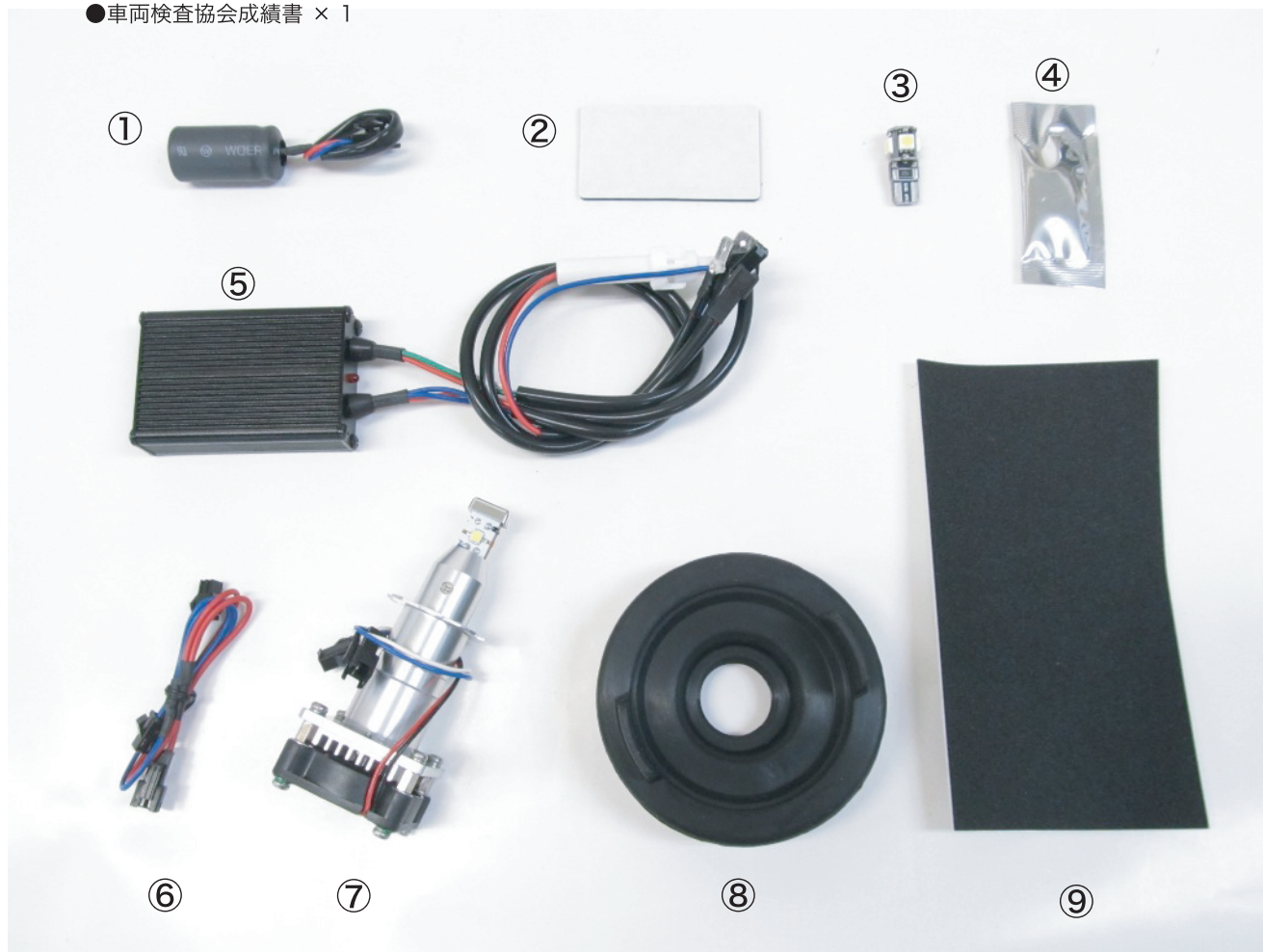
ファン後方は通気性の良い状態
にて使用してください。
障害物で塞がないようご注意ください。

- **入力電圧変化による光量変化がほとんどない！**
本製品は、入力電圧が1v下がっても光度がほとんど落ちない設計となっております。当社測定において
入力電圧10v時の高度は12v入力時と比べて2.5%ダウンと僅かなので、電圧が低くなった旧車でも車検に合格する事が可能です。

部品表

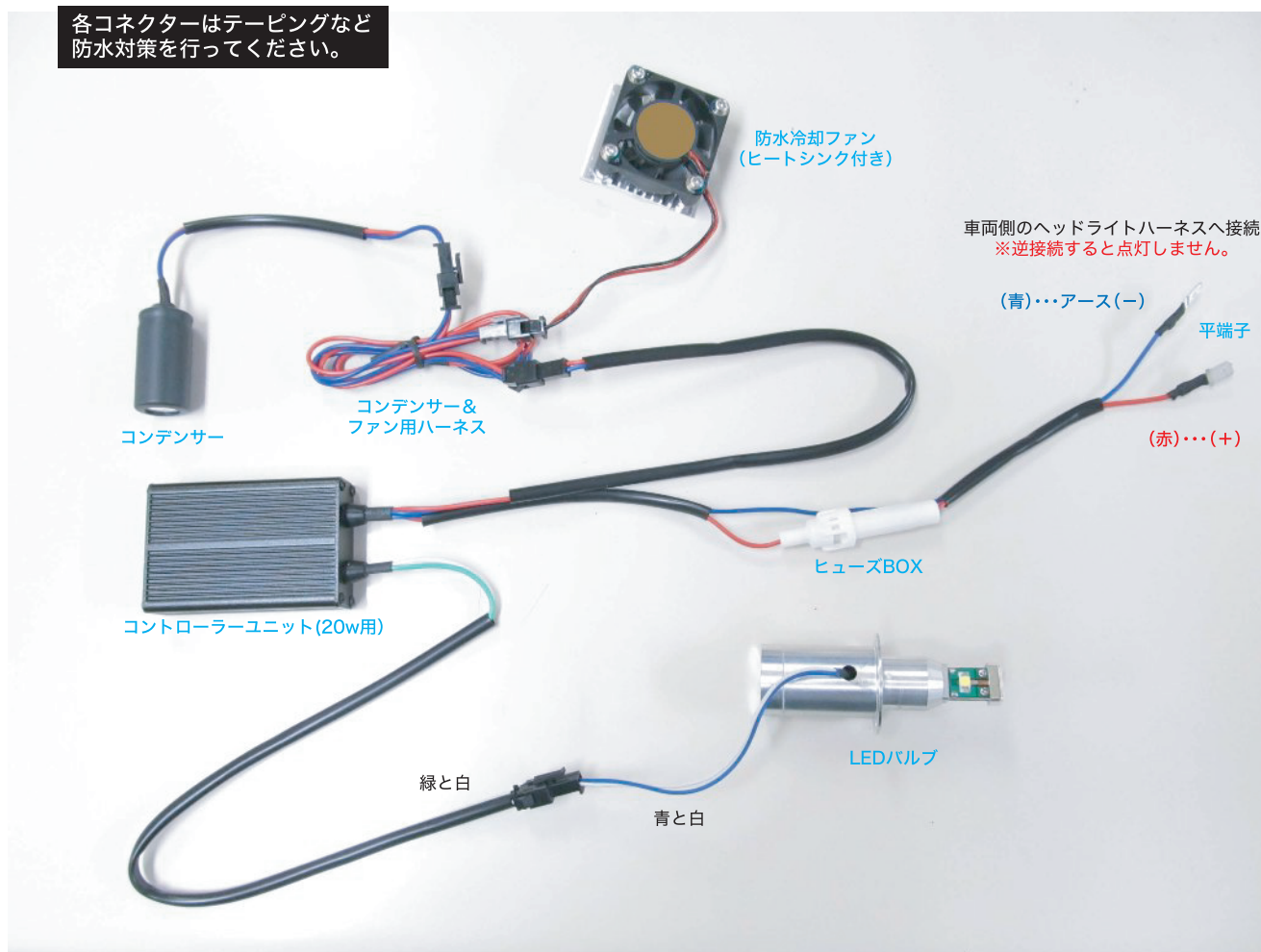
※取付け前に不足が無い事と破損した部品が無い事をご確認ください。

- ① コンデンサー × 1 ② 両面テープ × 1 ③ T10 LEDポジション球 × 1 ④ 導熱用グリス × 1
⑤ コントローラーユニット(20w用) × 1 ⑥ コンデンサー&ファン用ハーネス × 1
⑦ LEDバルブ本体(ファン付き) × 1 ⑧ 防水ゴムキャップ75mm × 1 ⑨ 防水シート × 1
● 車両検査協会成績書 × 1



配線図

各コネクタはテーピングなど
防水対策を行ってください。



LEDバルブの取付け方法【'13~'18 F700GS Loビーム】

●取付け準備として丸印の左右2箇所のネジを外してヘッドライトを車体から取外します。



① ノーマルバルブを外して、LEDバルブを取付けます。

※LEDバルブはUPの刻印を上に向けて、LEDチップが3時と9時を向く様に取付けてください。



② コントローラーのハーネスをLEDバルブ(2P)と車両側ヘッドライトバルブカブラーに接続します。

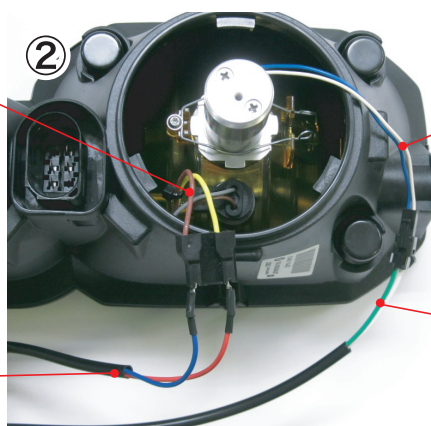
※コントローラー側の赤(+)、青(-)です。ヘッドライト側の黄(+)、茶(-)です。

極性をお間違えにならない様にご注意ください。逆接続では点灯しません。

ヘッドライト側
2Pカブラー(茶、黄)

(+)側：赤と黄
(-)側：青と茶

コントローラー側
ハーネス平端子(赤、青)

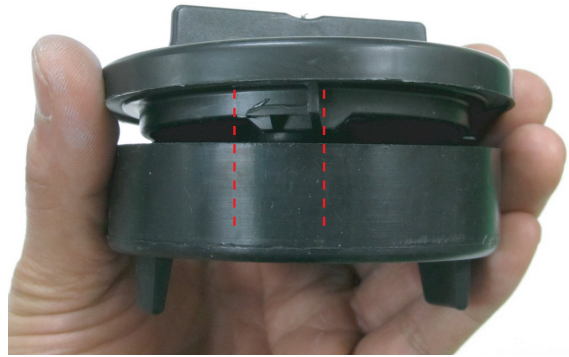
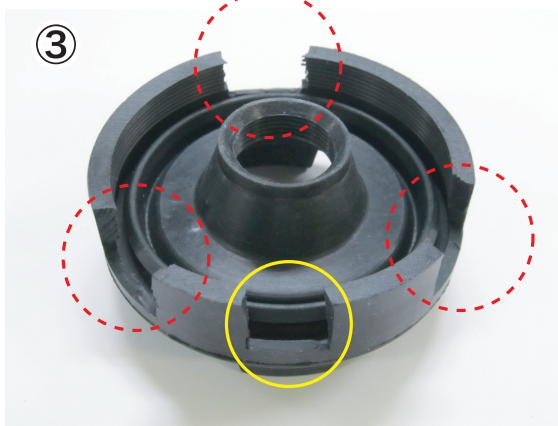


LEDバルブ側
2Pカブラー(青、白)

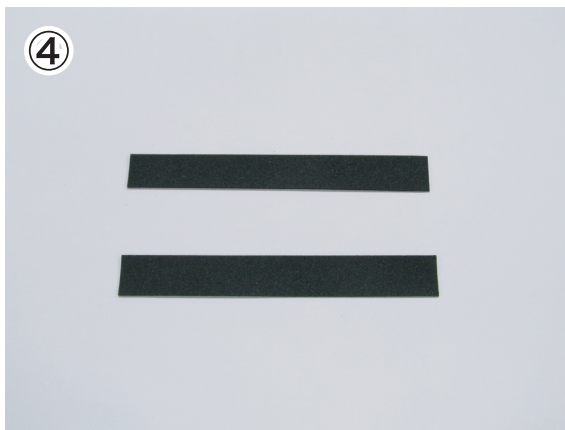
コントローラー側
2Pカブラー(緑、白)

③ ゴムキャップに切り込みの加工をします。

赤い点線の3か所はヘッドライトキャップを画像の様に重ねてロック部分の幅に合わせて切り込みを入れます。
黄色い丸で囲った部分は②で接続したハーネスを出す為の逃がし様になります。



④ 防水シートを20mm巾で2本切り出します。



⑤ ゴムキャップを取り付けます。配線は下方向に出します。
ゴムキャップはヘッドライトの内側に入れます。



⑥ ゴムキャップとヘッドライトを覆い包む様に防水シートを貼り付けます。



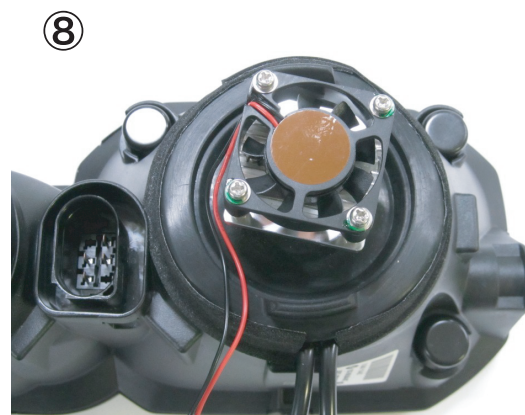
⑦ LEDバルブ後部に導熱グリスを塗ります。



⑧ ファンを時計回りに回転させ密着するまで締め込みます。

※ 約3回転で締め込むことができます。

コントローラーユニットの2Pカプラーと接続します。



⑨ コントローラーユニットはカウル内側などに貼り付けます。



コントローラーユニット

各カプラーの接続は本取説表面の配線図に従ってください。

配線は結束バンドなどで確実に固定してください。

※ハンドルを左右に切った時にコード類が引っ張られたり、たるみすぎない様配線してください。